

戸手高校カフェ事例発表

ニューしんいち

健康福祉まつり

「第52回ニューしんいち健康福祉まつり」が11月2日、新市交流館・新市老人福祉センターで開催された。

新市町4学区と芦田町の福相学区の福祉を高める会メンバーによる、同まつり実行委員会が主催。福山市社会福祉協議会・社会福祉法人新市福祉会・一般財団法人義倉などが協力した。

同まつりは1974年、健康と福祉をテーマに「しんいち健康福祉まつり」として始まった。

誰もが健康で、いつまでも住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会を目指し、回を重ねてきた。

コロナ禍での中止もあり、2021年度に「ニューしんいち健康福祉まつり」

いし健康福祉まつり」に名称を変え、地域福祉活動の事例発表と講演会に特化し、地域福祉活動関係者の研鑽の場となっている。

交流館ホールでの開会式では、はじめに

実行委員長の常金丸学区福祉を高める会・高橋正会長が、「地域福祉活動において非常に参考になる話が聞けると

思います。今後とも、安心安全に暮らせるまちづくり、お互

いの様のまちづくりを行政、社協、包括と連携し地域の見守り活動、

ボランティア活動に取り組んでいきましよう」とあいさつ。

続いて来賓あいさつ。新市福祉会・寺岡暉理事

長は、「ちようど今、野球（MLBワールドシリーズ第7戦・ドジャーズ対ブル

ージェイズ）やっています。私のモットーは『全員野球』。皆さんの力を結集して、これからのパフオーマンスや

活動に役立ててください」と呼びかけた。

アトラクションとして「備後緋音頭をつなぐ会」が、

「備後緋音頭」の竹踊り・輪踊りを披露した。

事例発表は、広島県立戸手高等学校（高村聖悟校長生徒4人による『戸手高校カフェ

』認知症カフェ×高校生』。戸手高校カフェは、高校が

運営主体の、全国でも珍しい認知症カフェとして昨年

10月1日にオープン。おおむね月1回、これまでに9回

実施してきた。

認知症のご本人やご家族、認知症に関心のある地域の人が気軽に参加可能。世代間交流を図りながら、高校生が

もつ明るさや元気、優しさで楽しい時間を過ごすことが



戸手高校カフェについて発表

できる。

今年度は3年生15人が運営。

事例発表では、パワーポイントによる写真や動画でこれまでの経緯やカフェの活動の様子を詳しく紹介。

続いて、ステージに立った生徒たちが、自分たちが考案したフレイル予防体操を披露し、参加者に指導。会場全員で体を動かし、大いに盛り上がった。

また戸手高校カフェは、全国キャラバン・メイト連絡協議会主催の自由作品・高校生の部で、同カフェの活動報告が最優秀賞を受賞。

そして、NHK厚生文化事業団の『認知症とともに生きるまち大賞』で特別賞を受賞した。

来年1月13日（火）20時からNHK「ハートネットTV」で紹介される予定。

ニューしんいち健康福祉まつりはその後、光の丘病院・徳岡優生先生による、『認知症への不安に向き合う』と題した記念講演が行われた。

戸手高校カフェのご案内 ～認知症カフェ×高校生～

世代間交流を図りながら楽しい時間を過ごしていただけるように、高校生がもつ明るさや元気、優しさをお届けします。

「認知症について知りたい」「専門家に聞いてみたい」「みんなと楽しく交流したい」と思われたら、お気軽に電話でのご予約をお待ちしています。

とき 11月18日（火）14:00～15:00

ところ 広島県立戸手高等学校 5階図書室

参加費 100円 定員 15人

対象 認知症のご本人やご家族、地域の方

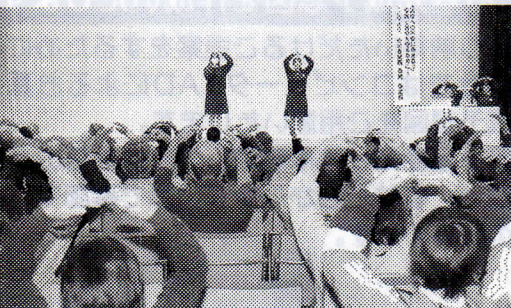
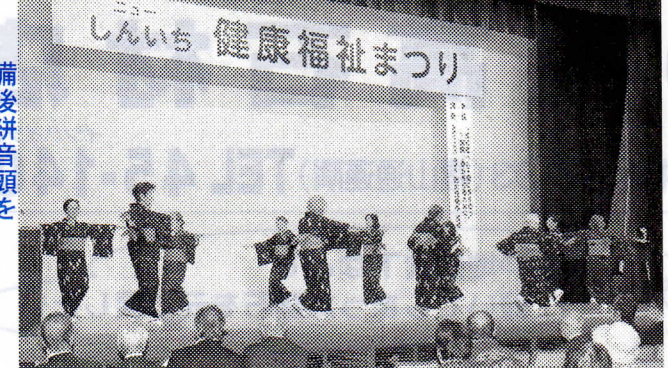
【問い合わせ・予約】戸手高校・野田教諭 TEL52-2002



あいさつする 寺岡暉理事長



備後緋音頭をつなぐ会の皆さん



フレイル予防体操で盛り上がりました